

石川鍊次 いしかわ じゅんじ ドイツ文學者。明治二十六年一月東京生れ、昭和二十一年七月八日没（八九三—一九四五）。筆名葉谷達雄。第四高等學校を経て、大正六年東京帝國大學文科大學獨逸科卒。第六高等學校、第八高等學校等で教授。

譯書に、メーリケ作『プラークへの旅路のモーツァルト』（大正十五年十一月）二十五年岩波書店「獨逸文學叢書」、のち改題『旅の日のモーツァルト』昭和十四年四月十七日岩波書店「岩波文庫」、齋藤榮治解説『旅の日のモーツァルト』（二十二年四月）二十五年東書房）、『グリンパルツェル作『維納の辻音楽師』（昭和九年十一月）二十五年岩波書店「岩波文庫」）、『ヨハンヌ・カロッサ全集』（幼年時代 現代に於けるゲーテの影響）』（昭和十二年七月）二十五年東書房）、『シムテナーゼエ 著』『獨逸民族』（二十五年）『昭和十七年十月十日地理雑誌』（H・S・チェーリングレン著『ワリーピヤルト・ブーグナーの生涯思想及び藝術』（昭和十九年四月）二十五年）『一見書房』（カロッサ作『青春戀の舞』（昭和二十八年）二十五年）創元社「創元文庫」）等。

